



5ff8246e76ef8

医療機関名：PMCクリニック

受診日：2023/4/1

受診者名：サンプル タロウ

カルテID：123456789

備考欄①：

備考欄②：

大腸がんリスク検査報告書

Prodrome-CRC

プロドロームシーアールシー

Prodrome-CRCは、米国で行われた疫学研究に基づき、あなたの検査結果と類似した検査母集団(群)における、統計的な大腸がんの発症リスクを指標化したものです。

*本検査は疾患の診断や将来の疾患発症を確定するものではありません。

*基礎疾患やその他遺伝的要因等によっても大腸がんの発症リスクは変動いたします。

氏名	サンプル タロウ 様	性別	男性	年齢	47歳
受診日	2023/4/1	カルテID	123456789		

今回のProdrome-CRCの結果

Prodrome-CRCの結果、長鎖脂肪酸の値は、レベル**82**でああなたの結果値と同等の方は**低リスク群**に分類されます。

結果コメント

今回の検査結果では長鎖脂肪酸の値から、低リスク群に分類されました。

大腸がんは症状に気づきにくいがんともいわれています。今後も定期的に検査を受検し、大腸がんの早期発見・予防に努めましょう。また、食生活、喫煙、飲酒などの生活習慣の乱れにも注意しましょう。

(各)リスクの分類について

低リスク群

レベル:26-100

リスク因子を避けて、健康的な生活習慣を心がけましょう。
また、リスク管理のためがん検診や本検査の継続的な受検をおすすめします。
*「低リスク」群であっても疾患の発症可能性が否定されるものではありません。

中リスク群

レベル:11-25

喫煙習慣や肥満といったリスク因子をお持ちの方は、生活習慣を見直し、健康的な生活習慣を心がけましょう。
また、リスク管理のためがん検診や本検査の定期的な受検をおすすめします。
※1年に1度程度

高リスク群

レベル:0-10

医療機関ともご相談の上、専門医の受診をご検討ください。
必要に応じて、大腸内視鏡検査などの精密検査(右ページ参照)の実施を推奨します。

※他検査の結果を踏まえ、必要に応じて専門医の受診や精密検査の受診をおすすめします。

大腸がんのリスク因子について

大腸がん発症の危険性を増加させるリスク因子がいくつか報告されています。
予防の第一歩として生活習慣の改善を心がけましょう。

✓食生活



赤身肉や加工肉（ベーコン、ハム等）の過剰摂取は大腸がんのリスクを上昇させるとわれています。

✓喫煙



喫煙は大腸がんの発症危険度を増加させるとされています。
また、動脈硬化やその他のがんのリスク因子としても考えられています。

✓アルコール



アルコールを1日1合以上摂取する方*は、お酒を飲まない人に比べて、2倍ほど大腸がんのリスクが高まるとわれています。

*エタノール量換算で約23g程度

✓肥満



肥満は大腸がんのリスクを増加させることが報告されています。
特に男性ではBMI（肥満指数）が25以上の方が、それ以下の人に比べて大腸がん発症の危険度が2倍ほど高まるとわれています。

参考：国立がん研究センター がん情報サービス
科学的に基づく発がん性・がん予防硬化の評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究

大腸がんに関する精密検査について

大腸がんは自覚症状が少ないことで知られています。
必要に応じて専門外来の受診や精密検査の実施をおすすめします。（下記は実施例です。）

✓大腸内視鏡検査



肛門から、管状のカメラを入れて、大腸全体を観察する検査方法です。
大腸がん、大腸ポリープなどの疾患の発見に優れています。

✓CT検査



X線とコンピュータを使用し、大腸の画像を撮影する検査です。
内視鏡を挿入せず大腸の鮮明な画像を撮影できるため、「バーチャル大腸内視鏡検査」とも呼ばれています。

※Prodrome-CRCは医師の診断を代替する検査ではありません。

※大腸がんの診断は、その他の健康診断の検査結果や精密検査の結果をもとに総合的に判断されるものです。

● Prodrome-CRCについて ●

検査概要

本検査では15種類の長鎖脂肪酸^{*1}（以下GTAファミリーと記載）の血中濃度を測定しています。これらは健康な状態から大腸がんになる段階で減少すると考えられています。

人体では、慢性的に過剰な炎症が生じたり、古くなった細胞が蓄積することでがんができやすくなると考えられていますが、GTAファミリーはこれらを抑制することでがんが発生することを防ぐ働きがあると考えられています。そのため、GTAファミリーの減少は、大腸がんの発症リスクを高める可能性があると考えられています。

^{*1} 長鎖脂肪酸：細胞を構成する物質で、その機能や形状を正しく保つ働きがあります。

結果について

GTAファミリーの測定量によって高リスク群、中リスク群、低リスク群の3段階に分類しています。統計的に中リスク群の場合は、低リスク群の方に比べてがんが見つかる可能性が10倍近く高くなるとされています。同様に、高リスク群の場合は、低リスク群の方に比べて100倍以上がんが見つかる可能性が高くなります。^{*2}

^{*2} 55-59歳男性の場合のがんの発見率：中リスク群/低リスク群=11倍、高リスク群/低リスク群=143倍

受検後の対応

生活習慣を見直してリスクの軽減に努めるとともに、定期的なご受検をおすすめします。また、必要に応じて、大腸内視鏡検査などの精密検査を受けることをおすすめします。

